

■■■■ 労働法を外観してみよう ■■■■

● 市民革命後の社会

近代 _____ 法： 市民革命以降の時代, _____ 社会を支えた原理

* 個人と個人の関係は _____ に基づく, という考えが浸透する

近代市民法の _____ (民法の三大原則)

1) 権利能力 _____ の原則

* 人間は自由で自立した存在であり, 能力は平等に与えられている

2) _____ の原則

* 個人が手に入れた財産は何人によっても侵害されず, 自由に取引できる

1789年 フランス _____ 第17条

所有は, _____ かつ _____ の権利 (である。)

3) _____ (_____) の原則

* 市民が自分たちの _____ でルールを作ったなら, それは優先すべきもの

* 私人間の経済活動に _____ は _____ すべきではない

_____ の進展 (英 1790年頃~, 仏&米 1830年頃~, 日本 1901年~)

* _____ (土地) も _____ も持たない _____ が都市へ流入

● 労働契約関係の特徴 : 近代市民法原理への疑問

① _____ が生じやすい (∵ 人間が取引の対象なので)

② 契約の _____ 性 (∵ 契約が何十年にもわたって継続しうるので)

③ _____ の差 (∵ 労働者と使用者を経済力で見比べると対等ではないので)

④ 国家の _____ と結びついている (∵ 国力や社会の安定に関わってくるので)

→ 労働契約を _____ に委ねておくと弊害が生じる！

● 労働法の誕生

教科書 13 頁～

労働者が劣悪な条件で働くことのないよう、3つの方法で _____ の原理に介入

i) _____ 法

ii) _____ 法など : _____ が労働者を _____ する

* 1833 年, _____ が制定される 【英】

(9 歳未満の _____ 労働を禁止, 18 歳未満の労働時間を週 _____ 時間に制限)

* _____ (_____) 年, 日本でも工場法が公布される

(最低就業年齢 12 歳, 15 歳未満および女性の最長労働時間は 12 時間)

iii) _____ の設立を援助・促進 : _____ として _____ を行使する

cf.: 1791 年のル・シャプリエ法 (同業者組合の結成禁止) が 1864 年に廃止される 【仏】

法学概論を履修していなければ)

濱口桂一郎『若者と労働 「入社」の仕組みから解きほぐす』 (中公新書ラクレ, 2013 年)

もっと詳しく) 西谷 敏『労働法 (第 2 版)』 (2013 年, 日本評論社) 第 1 章 一

もっと詳しく) 水町勇一郎『労働法 (第 6 版)』 (2016 年, 有斐閣) 第 1 章

関心を広げるなら) 塩野七生『ローマ人の物語』 (新潮文庫, 全 43 卷)